

# 汎用人工知能への壁：ARC-AGI-3と「スケールリング則」の終焉

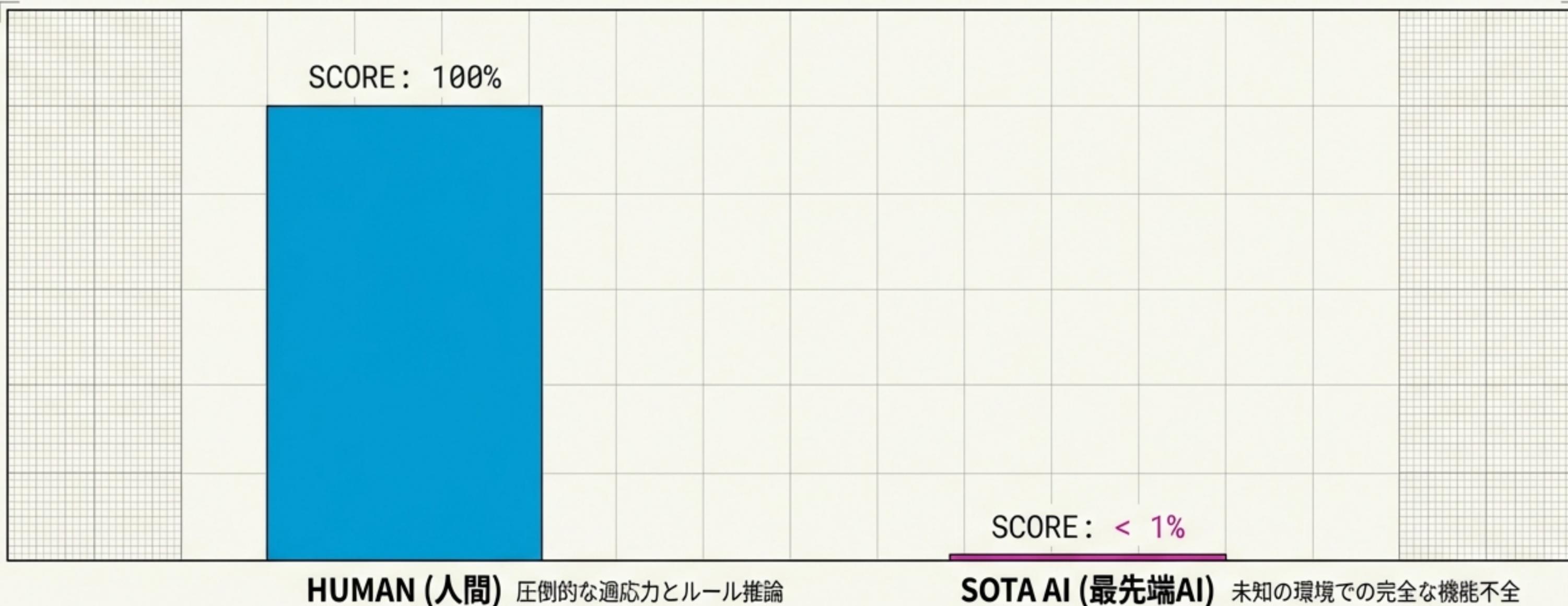
データと計算量への依存から「真の知能」の測定へ

DATE: 2026年3月26日

DIAGNOSTIC REPORT: CRITICAL

SUBJECT: AGI BENCHMARKING

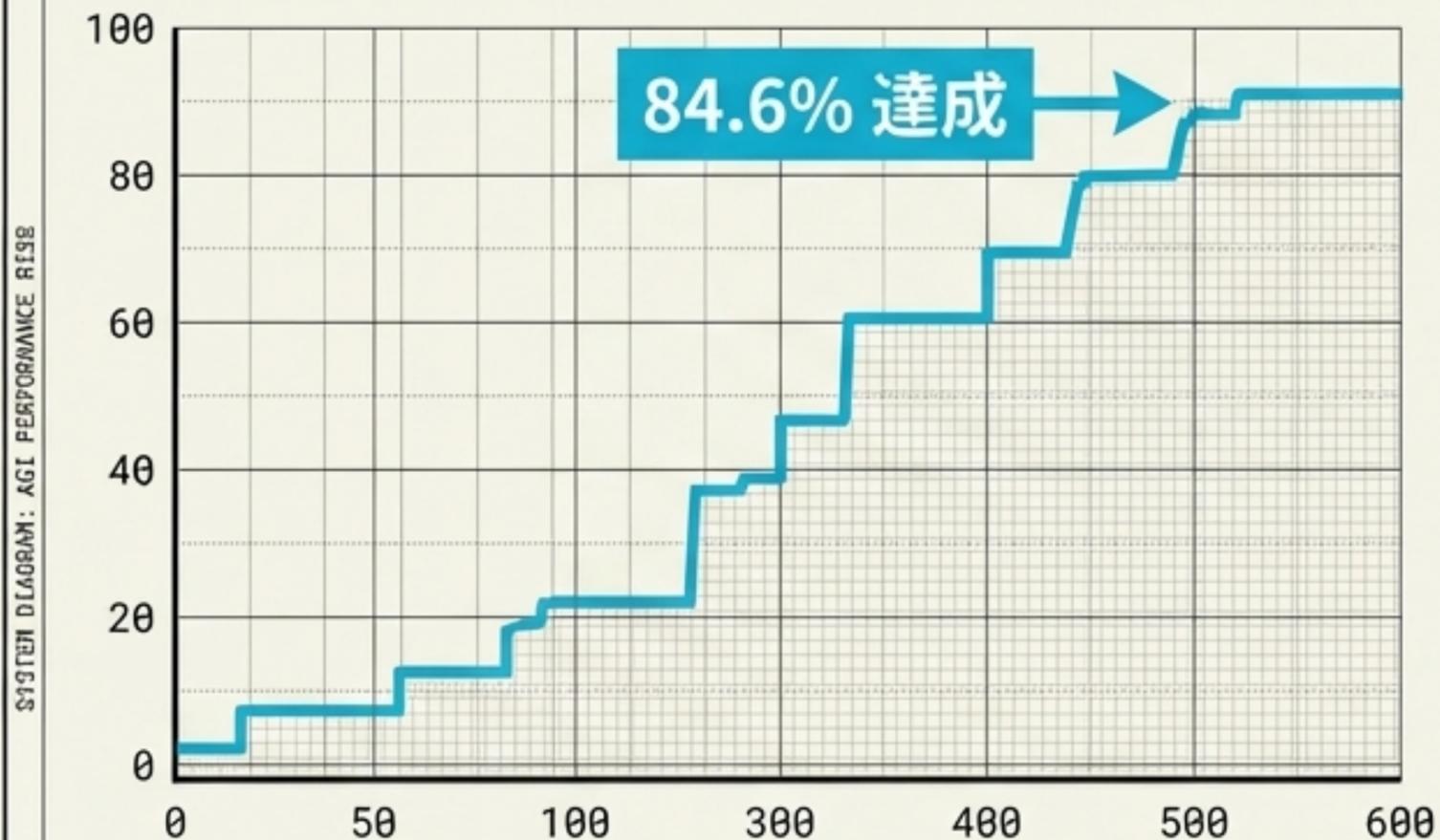
# 最先端AIの「正体」：人間が100%解けるゲームでの達成率は1%未満



この絶望的な格差は、現在のAIが「暗記」に依存しており、未知の状況に対して人間のように柔軟に適応する能力が根本的に欠如していることを示している。

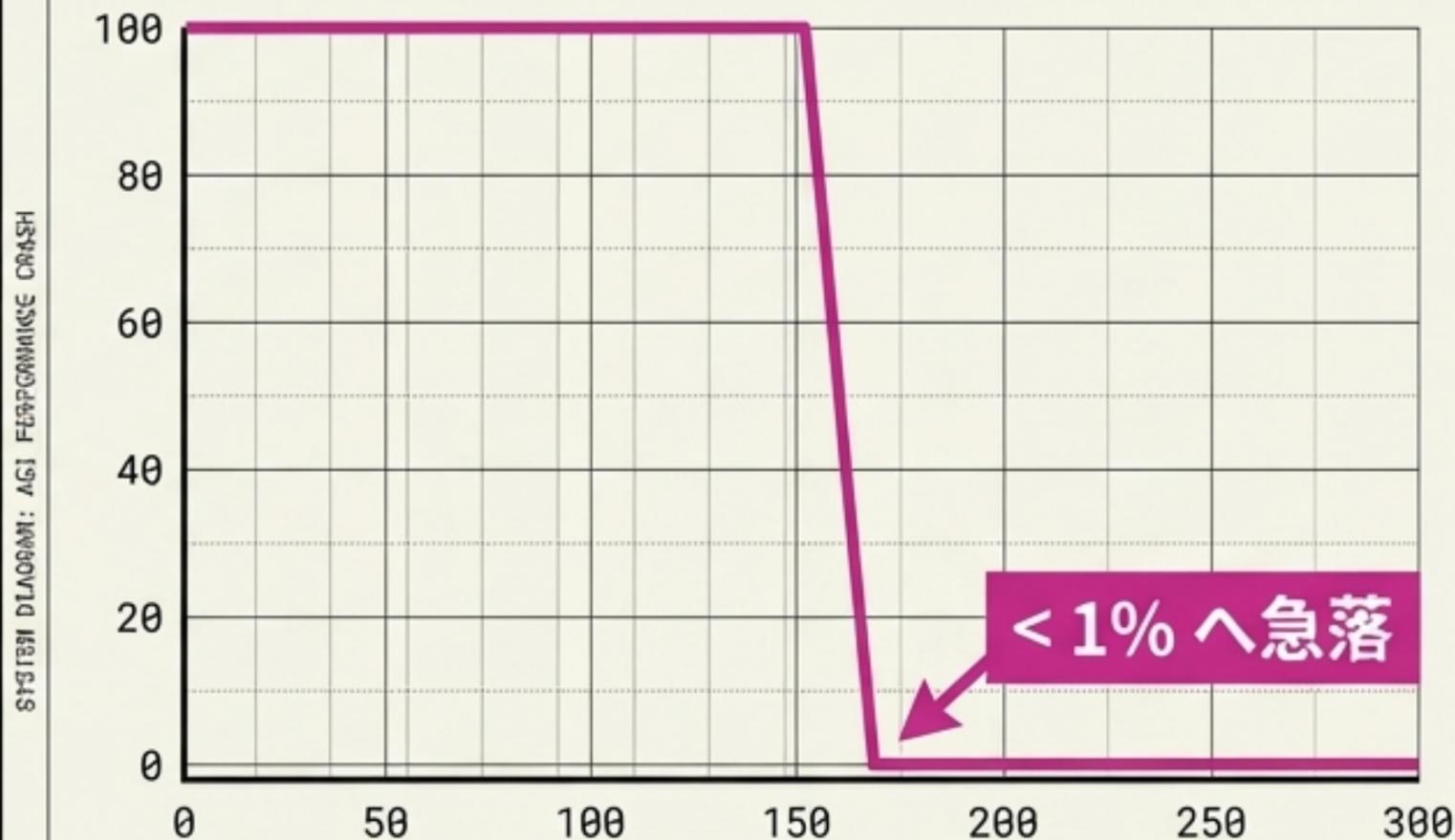
# 幻のAGI到達：Gemini 3 Deep Thinkの成功とARC-AGI-3での失速

## ARC-AGI-2



GoogleのGemini 3 Deep Thinkなどが高スコアを記録。AGI到達への期待が最高潮に達する。

## ARC-AGI-3



動的・インタラクティブな環境に移行した瞬間、主要なAIモデルが全滅。現行モデルの「一般化能力」の限界が露呈。

# ARC-AGI-3：知能の定義を「暗記」から「スキル習得の効率」へ再定義する

「知能とは、スキル習得の効率である」

— François Chollet (Keras開発者 / ARC提唱者)

## [WHAT]

世界初の本格的なインタラクティブ推論ベンチマーク。

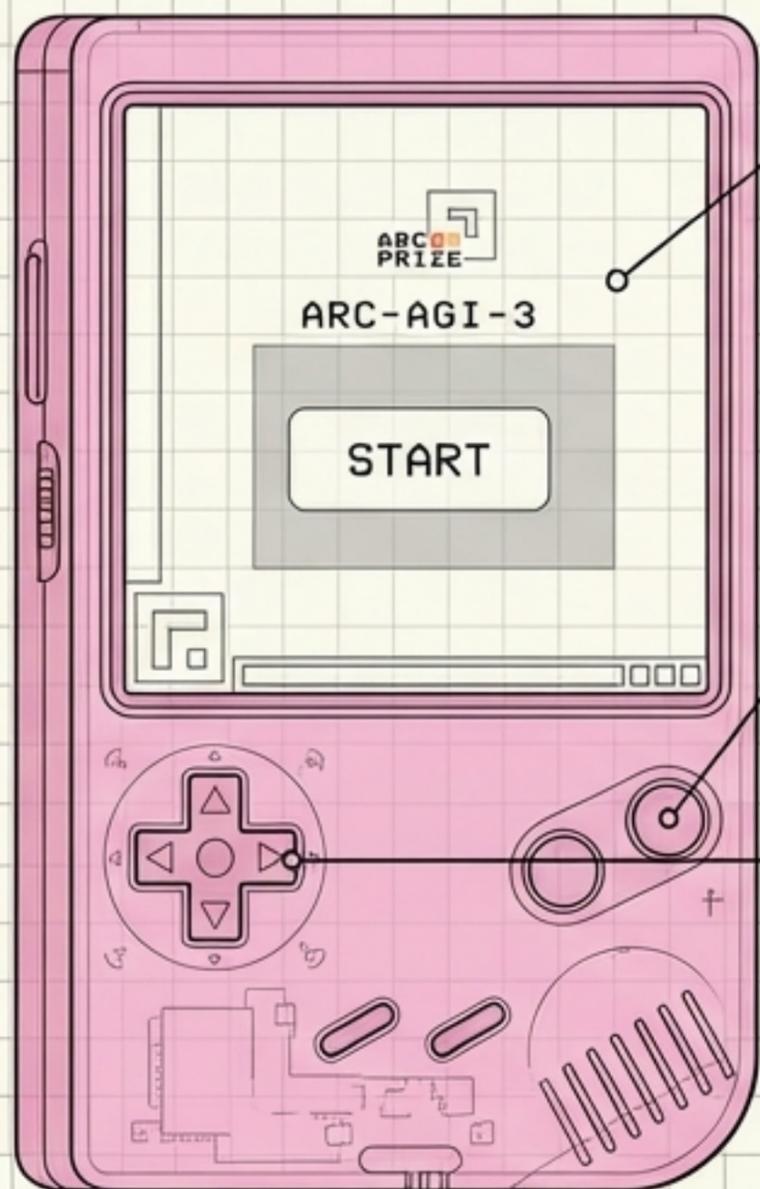
## [HOW]

自然言語の指示なし。未知の環境（ビデオゲーム形式）を探索し、試行錯誤を通じてルールを学習する。

## [WHY]

現実世界の予測不可能な状況に対応するための「汎用的な知能」を測定するため。

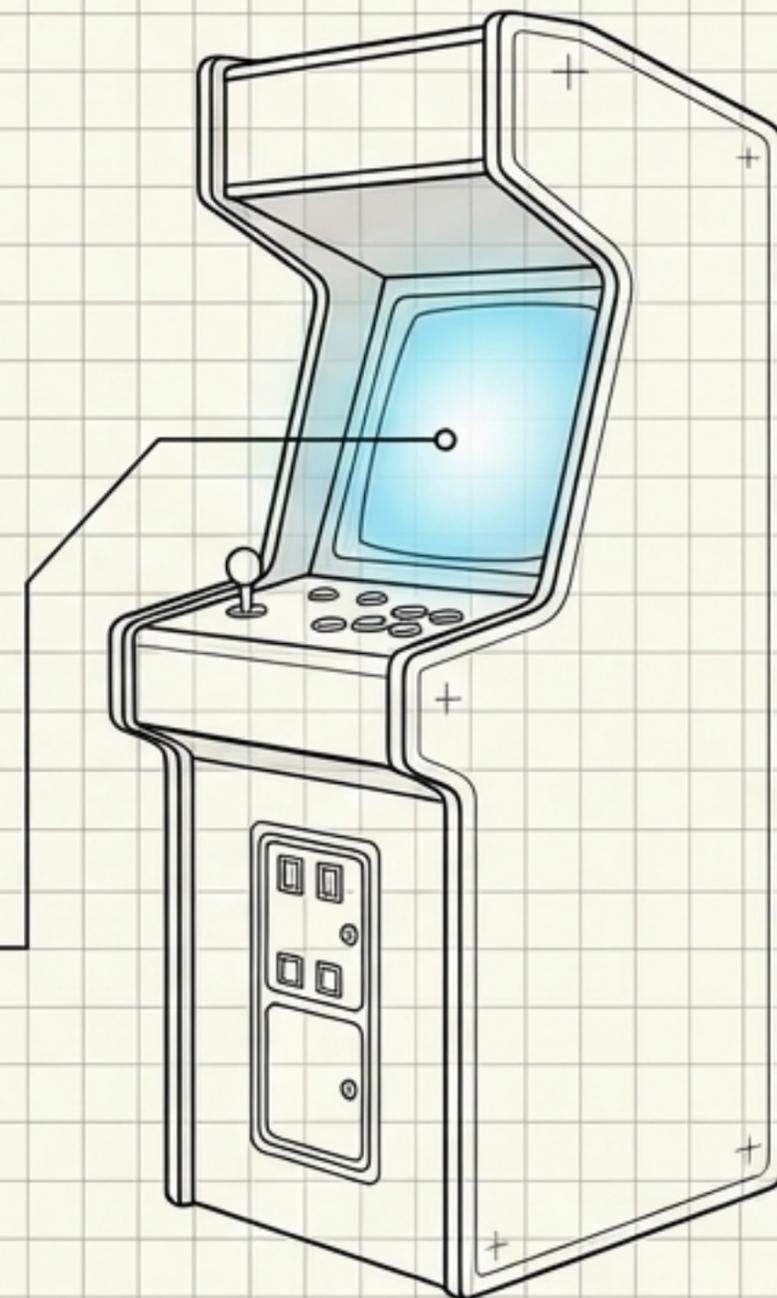
# インタラクティブな未知の環境：AIは「ルール不明のゲーム」に放り込まれる



1 **ノーヒントの初期状態**  
自然言語によるプロンプトや事前知識は一切与えられない。

2 **アクションを通じた検証**  
行動を起こし、環境からのフィードバックを得ることでしかルールを推測できない。

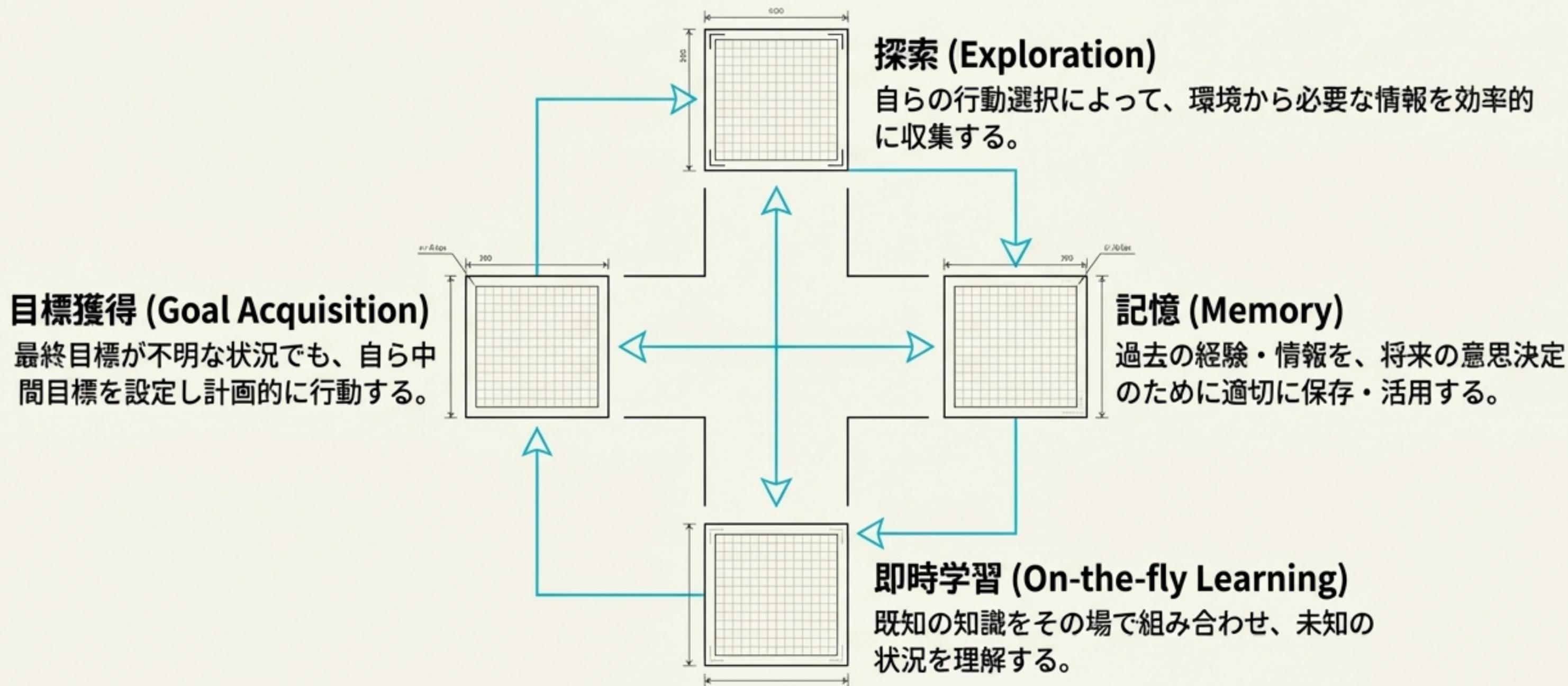
3 **動的な目標設定**  
固定されたゴールではなく、状況に応じて自ら目標を見つけ出す必要がある。



# ベンチマークのパラダイムシフト：静的テストから動的評価へ

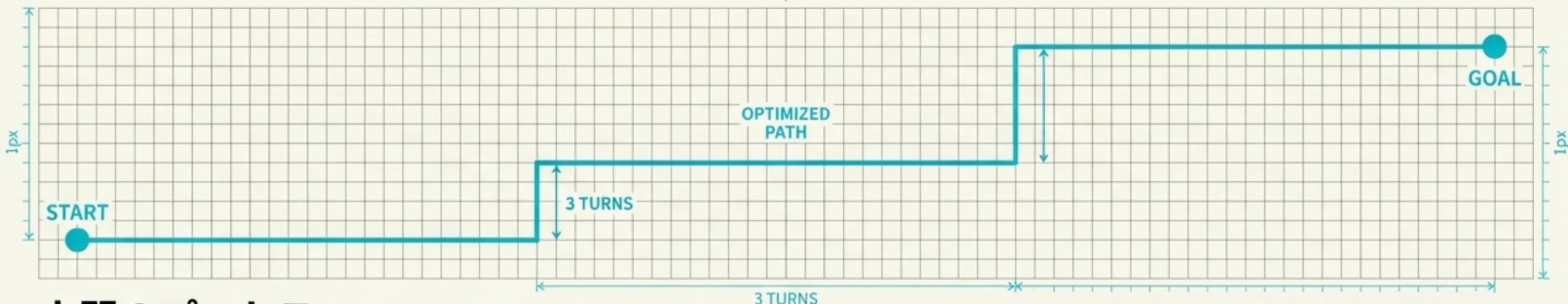
	従来のAIベンチマーク	ARC-AGI-3
<b>Focus</b> (評価の焦点)	既存知識の組み合わせと暗記 (Memorization)	<b>1 未知の環境への適応力と学習</b> (Adaptation)
<b>Environment</b> (テスト環境)	事前に定義された 静的なデータセット (過学習のリスク大)	<b>2 完全に新しい インタラクティブな動的環境</b>
<b>Evaluation</b> (評価指標)	最終的な「正答率」 (Answer accuracy)	<b>3 目標達成までの「行動効率」</b> (Action Efficiency)

# 真の汎用知能に求められる「4つの中核能力」のフィードバックループ



Synthesis Note: 静的なパズル (ARC-AGI-2以前) では測定不可能な、環境との「対話」を通じた知能のサイクル。

# なぜAIは失敗するのか？：「行動効率 (Action Efficiency)」の圧倒的な差

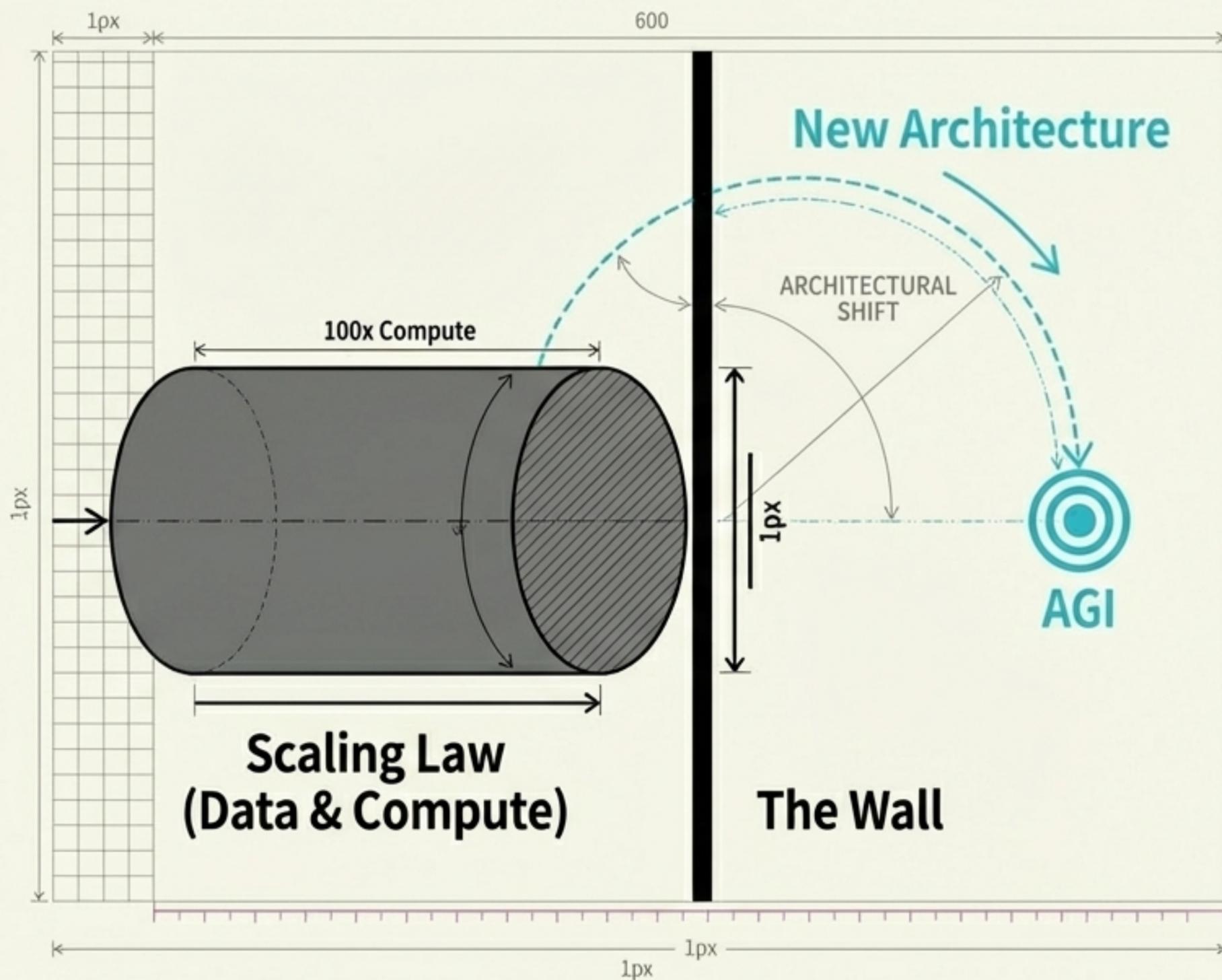


**人間のプロセス** 少ない試行回数でルールを推測し、最適な戦略を構築する。



**AIのプロセス** ランダムサーチ(無作為な探索)やブルートフォース(総当たり)に陥り、環境から得た情報を有効な戦略へ変換できない。

# 「スケーリング則」の壁：データと計算量の暴力ではAGIに到達できない



## The Illusion of Scale

データを増やし、モデルサイズを巨大化させる「スケーリング則」は、特定のタスク性能を上げる手法に過ぎない。

## The Fundamental Flaw

現行のアーキテクチャは「過去のデータの吸収」に特化しており、ARC-AGI-3が要求する「リアルタイムの動的推論」を行う構造になっていない。

## The Verdict

AIがARC-AGI-3で1%未満のスコアに留まった事実は、単なるモデルの巨大化アプローチが限界に達したことを明確に証明している。

# ARC-AGI-3 ロードマップ：次世代AGI研究のエコシステム構築

## ARC-AGI-3の登場

2025年7月17日

- プレビューゲーム公開
- データ収集開始

人間とAIのパフォーマンスデータを収集。ランダムサーチに対する脆弱性などを特定し、改善に活用。

2026年3月25日

- 開発者ツールキット公開

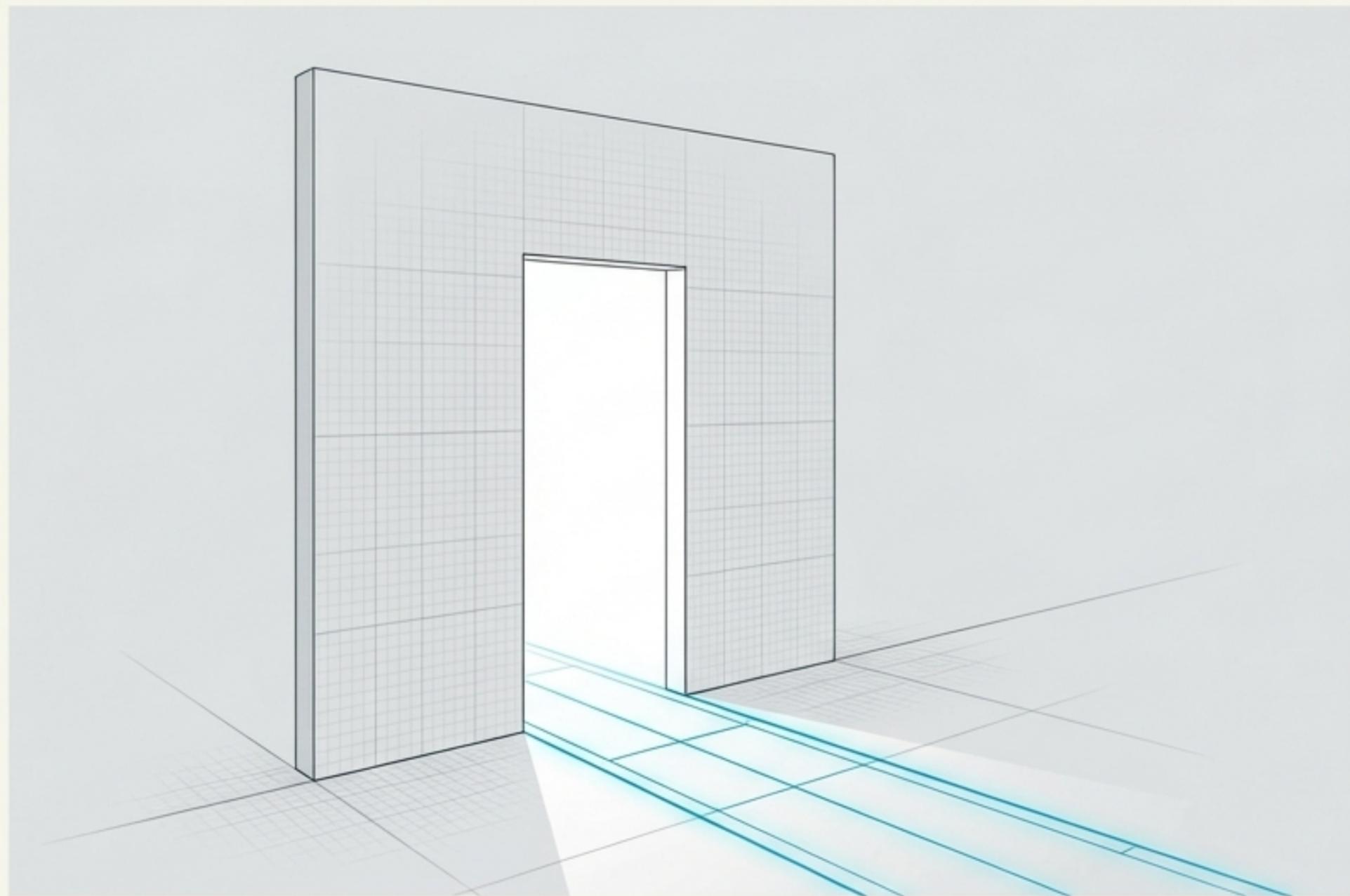
AIエージェントを統合するためのツールをオープンソース化。

2026年3月26日

- ARC-AGI-3ベンチマーク正式ローンチ
- AGI研究の進展期待

AGI研究の新たなマイルストーン。「ARC Prize」を通じた世界的な競争による進展の加速。

# 真のAGIに向けた次なるブレークスルーへの鍵



## 01. 評価軸の転換

AI研究の焦点は、「特定タスクの性能向上」から「未知の環境への適応力と一般化能力」へ完全にシフトした。

## 02. 新たなアーキテクチャの必須性

スケーリング則への依存を脱却し、環境と動的に対話して学習できる全く新しいAIモデル構造の発明が急務である。

## 03. 触媒としてのARC-AGI

「ARC Prize」を中心としたコミュニティの競争が、停滞しかけたAGIへの道を再び切り開く北極星となる。

Intelligence is Interactive. (知能とは、対話的である)